

あ み だ じ  
**阿 弥 陀 寺**  
だ よ り

2026年 1月 1日 第 67号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

E amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ **金剛山 阿弥陀寺** 検索

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

恭賀新年

大悲に生きる人とあう

願いに生きる人となる



玉川奈々福さん

毎年、11月3日 寺子屋「語りの秋」

かなしみをきく

大谷 義文

「二年つて早いね」と、思わず口にする。

悲観的ではなく、生きている今を実感できる言葉でもある。なぜなら「どう生きるのか」を語ることができるからだ。

いま、語れない人々が世界中に溢れている。

ウクライナ、ロシア、イスラエル、パレスチナのような紛争地域の住民、そして兵士。

また思わぬ境遇に、苦痛を背負い、誰にも語れずに暮らしている人。

語ることを奪われた人々の思いを世に届けたひとりが、作家の石牟礼道子さんだ。

戦後、代用教員をしていた彼女は、駅の片隅で眠る戦争孤児に手を差し伸べない大人を見て、家に連れて帰ったという。「親は自分の生んだ子どもだけを子どもだと思ひ、学校の先生は学校に来る子どもだけを子どもだと

思っている」と、子どもの代弁をして社会を痛烈に批判した。

また作家としてではなく、水俣に暮らすひとりとして現場を訪ね、苦しみとかなしみと痛みを言葉にして世に訴えた。

都会のビル群を「いのちが生きる大地を埋め尽くした、コンクリートの卒塔婆だ」と、いのちを踏みにじつてまで経済を優先させる人間の愚行を言葉にした。

新内閣が発足し、首相は強い経済、強い国をつくり安心できる社会を目指す、目標を掲げた。

親鸞聖人は、人の知識と経験は何年かけて蓄積しても安心の世をつくる糧にはならないことを証明し私たちに伝えている。だからこそ、かなしみという語りを聞き続けることが、「どう生きるのか」を問える生き方になると教えられている。

**佐土原本店**

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 **096-360-8488**

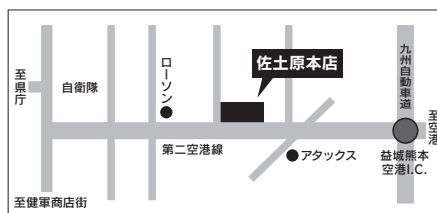
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>





# 虹高く曲師合いの手三味永遠に

## 寺子屋

「語りの秋」

寺子屋「語りの秋」にて、浪曲を聞きました。豊子師匠のお写真を並べ、皆でお参りをしました。



玉川 奈々福さん

広沢 美舟さん



みどり綾さん

## 柱新人（詫間 洋志）句会楓組

故 沢村豊子師匠へ

豊子師匠が、昨年お亡くなりになりました。師匠とは、阿弥陀寺での玉川奈々福浪曲会で何度かお会いし、酒席も共にした。曲師という名称もそこで知った。ざつくばらんな方で、若かりし頃のお話しも面白く語られ、また何かあると「奈々ちゃんかね」と、おっしゃるのが印象的であつた。

小柄で素敵な印象を残された方だった。豊子師匠の足跡は「玉川奈々福オフィ



沢村 豊子師匠

シャルサイト『曲師 沢村豊子』に詳しい。動画も同サイト（なんと私服で三味線を抱え、奈々福師匠とアットホームなプライベート感激満載！）、Youtubeにも多数アップされており、ありし日の豊子師匠のお姿を拝見することができる。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 秋 彼岸会

昨年、彼岸会。大阪・中井賢隆、京都・はがみちこ、両布教使に高座で法話をいただきました。



中井賢隆 布教使



はがみちこ 布教使



皆さん、こんにちは。総代の森雄です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言ふやきたいと思ひます。ごきげんください。

## 『大江戸日記』

釋 芳隆（大谷 隆）

第15回

「粋と人情・賑わう西の市」という宣伝で浅草の年中行事のお祭りが開催された。義理と人情がよく聞くが、粋とは何か。「いき」は元々、江戸の芸者を表現するために使われ始めたらしく、身なりや振る舞いの洗練さ、また人情に通じていること、遊び方を知っている

ことという意味がある。今年は、普段から通う近所の町中華で一日お手伝いさせていただいた。この期間は屋台と人で混雑するため、常連客は断っている。地元、県外客の入店が続く中、毎回入るチャーハンの注文に、一つ一つ丹念に中華鍋をふるう大将。群馬から来た客が厨房に「チャーハンうまかった。ありがとう」と言ったが、大将は

振り返らず、鍋を振り続けた。客はレジの私に釣りはいらないと一万円を置き、笑顔で去って行った。粋な客だなと思ひ、深々と頭を下げた。振り返れば、鍋を振り続けた大将の後ろ姿が一番「粋」を表現していたようにも思う。礼には礼を尽くすと言うが、何かそれを超越した粋な人情を感じる無言のやり取りだった。

度はシカなどが急激に増えて森を荒らしてしまうというのです。また木の

「肥後山中膝栗毛」 釋 智明（川村 智明） 第31回

先日、お参り先で「クマが絶滅したらどうなるか」をお聞きました。まず生態系のバランスが崩れてしまうと言われました。クマは森の生態系の頂点にいます。クマがいなくなると、ほかの草食動物にとって脅威となる敵がいなくなってしまう。そのため、今

しかし、今まさに命を脅かされている人がいます。その方々の状況を考えると、危険が排除されない限り不安な日々を過ごされているはず。クマへの対策は、今を生きる私たちにとつての大きな課題です。それを克服し、後世への住みよい環境も両立しなければならぬ。難しいを思い知らされました。

## 『御修行奮闘記』

釋 博真（柳原 真八） 第52回

四十代になるとこれらの人生に不安を感じる方が多く、「中年の危機」とも言われるそうです。私も四十八歳になり、危機の真つただ中と思つていました。最近新たな挑戦が始まりました。ひとつはウクレレです。

ポヤポヤさんに誘われて始めたのですが、楽器が弾けたらいいなあという憧れはあつたので、良い機会でした。それ以来、いままで他人事として見ていたギターの演奏を「簡単そうだけど難し

てしまうので、乗ったらすぐ逸品のデコボンハイボールと地ビールを2杯注文するのが通の技です。乗車時間は約50分。2杯飲んだら極楽浄土まであつという間です。そもそも観光する気はまったくありませんので、またすぐ熊本駅にUターン。そう、目的はジャズバー。今年もいいジャズに出会え、皆さま幸せな年でありますように。

もうひとつは料理です。休みの日に作るのですが、やってみると意外に楽しい。しかし先日、お寺で「料理って面白いですよ」と、ある方に話すと「たまに作るのはいいけど、毎日の献立を考えるのは大変だよ」と言われました。その後、作れるレパートリーの少なさを痛感し、日々の家事の苦勞を知りました。

「中年の危機」のことを忘れるほど、新しい学びには力があるのだと思いました。

## 生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部 漢字／臨書／かな／ペン／くらしの書（実用書道）

生徒部 幼児・小中学生 各学年（毛筆・硬筆）



## 阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン（家族・親族の安心プラン） 33万円より 税込み 以下の内容が含まれます。 御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

想いを込めた送り方

## 想送の木山葬儀社

お問い合わせは！（24時間） 益城町宮園 547-3 096-286-4640 携帯 080-5214-4640 メール info@kiyamasougi.jp



報恩講（親鸞聖人のご法事）

日時・1月11日（日曜日）

午後1時～読経・法話～4時終了

講話・久池井 朋子さん（福岡・言語聴覚士）

講話・「法話がよく聞こえるおはなし」

法話・中井賢隆 布教使（大阪・最勝寺住職）

講話・「不死を生きる」

ミニコンサート・ポヤポヤ ※法要終了後、懇親会がございます。

差向け布教（納骨堂追弔法要）

日時・2月23日（月曜日・天皇誕生日）

午後1時30分～3時30分 終了

法話・木村 俊尚 布教使（新潟・梵行寺住職）

年回忌表  
令和8年（2026）

1 周忌	令和	7 年（2025）
3 回忌	令和	6 年（2024）
7 回忌	令和	2 年（2020）
13 回忌	平成	26 年（2014）
17 回忌	平成	22 年（2010）
23 回忌	平成	16 年（2004）
27 回忌	平成	12 年（2000）
33 回忌	平成	6 年（1994）
37 回忌	平成	2 年（1990）
50 回忌	昭和	52 年（1977）

上記が今年の年回忌です。  
ご予約が決まりましたら、  
お寺に連絡をお願い申し上げます。

猫伏石の声

令和8年 法要 予定

●報恩講

1月11日（日） 13時～

法話 中井 賢隆 師

（大阪・最勝寺住職）

ポヤポヤ（ミニコンサート）

●差向け布教

2月23日（月） 13時30分

法話 木村 俊尚 師

（新潟・梵行寺住職）

●春彼岸会

3月20日（金） 13時30分

「精神科医と

能楽師と読む經典」

安田 登 師（能楽師）

大島淑夫 師（精神科医）

ポヤポヤ（ミニコンサート）

●法話の会

7月5日（日） 14時～

法話 川村 智明

栃原 真人

大谷 義文

●秋彼岸会

9月20日（日） 13時30分

法話 中井 賢隆 師

（大阪・最勝寺）

はがみちこ 師

（岡山・正覚寺）

有馬麻衣子 師

（長崎・正覚寺）

●寺子屋（語りの秋）

11月3日（火） 14時～

安田 登 師（能楽師）

玉川奈々福 師（浪曲師）

ポヤポヤ（ミニコンサート）

●寺子屋（歳暮の会）

12月20日（日） 14時～

安田 登 師（能楽師）

ポヤポヤ（ミニコンサート）

●寺子屋

5月31日（日） 14時～

安田 登 師（能楽師）

ポヤポヤ（ミニコンサート）

※法要日程は悪天候等の場合、中止または変更になる事もございます。ご心配な時は、ご確認の連絡をお願い申し上げます。

096-289-0424

葬儀・祭壇

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府 1 丁目 12-3  
TEL.096-364-3220

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地 7 丁目 4-27  
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町 23  
TEL.096-324-4848